

道の駅オープンに向けて

VOL.12

道の駅で販売する商品の開発が進んでいます

開業まで約1年となった道の駅あびら D51ステーション。(一社)あびら観光協会を中心に各コーナーでの販売商品の開発が進んでいます。

テイクアウト商品の開発では、同協会と業務提携した札幌市内で飲食店舗を運営する企業による「美と健康」をテーマとした地域食材を使った持ち運びできるメニューの試作が行われています。このほか、町内の商業と農業が連携した新たな特産品開発も同時に進められ、4月以降、各種イベントで試験販売する計画もあります。



様々なものを試作中！



試作・提案された
アイシングクッキー

2月22日には業務提携先の企業から焼いたクッキーの表面に砂糖・卵白を着色して装飾した“アイシングクッキー”の提案があり、道の駅の名称にちなんだ商品開発の可能性も検討しています。

道の駅では、町外のお客様はもとより、町民の皆様にも親しまれる楽しい空間を目指し、2019年春のオープンに向けて準備を進めていく予定です。

開業PRのポスターが完成！



『道の駅あびら D51ステーション』の来年春のオープンを予告するポスターを作成しました。

施設紹介をはじめ、クラウドファンディングで全国から多くの寄付金が集まり、「D51 320号機」とともに道の駅で保存することとなる「キハ183」をイラスト化しています。2019年春の開業に向けて、認知度を高めていく取り組みを進めます。

道の駅の開業準備に対するご提言を 無記名で投稿される方へ

道の駅の開業に向けた貴重なご提言、誠にありがとうございます。前回のご投稿では『町民のほとんどが成功すると思っていないのではないかな？この言葉に触発されて何がなんでも成功させると奮起してくれることを願っている』というエールをいただきましたので、無記名で寄せられた提案への対応は行わない広報紙ルールではありますが、道の駅事業の成功に向け、関係者が一丸となり様々な検討を行っていることを広報紙で回答として掲載しました。

今回、追加提案への回答を希望される投書を再度いただきましたが、限られた紙面では、ご提案の全てを掲載し、これら全てに誠実な回答をすることは困難であり、また、個別のやり取りは、町政を広く町民にお知らせするという広報発行の目的からも外れてしまうため、回答は差し控えさせていただきます。なお、ご提案には、オープンまでの準備は困難であっても、民間活力・投資へ繋げることで将来的に実現できる可能性があると思われる貴重なご提言がありました。ぜひ、直接、道の駅担当部局へお越しいただき、お考えをお聞かせいただければと思います。